



# 令和4年度 矢板市教育委員会の 点検・評価報告書 (令和3年度対象)



GIGAスクール（コロナ休業中のオンライン授業）

矢板市教育委員会

# 目 次

はじめに	1
I 教育委員会の点検・評価の概要	3
1 目的	
2 点検・評価の対象	
3 点検・評価の構成	
4 点検・評価の方法	
5 外部評価委員	
6 議会への報告及び公表	
II 教育委員会事務局の組織・事務分掌	4
III 令和3年度教育委員会定例会・臨時会開催状況	5
IV 施策の点検・評価一覧	9
1 小中学校教育の充実	
1) 幼小の連携	10
2) 特色ある教育の展開	11
3) 教育相談体制の充実	14
4) 教育環境の整備	15
5) 地域と学校の連携・協働の推進	17
2 生涯学習の推進	
1) 生涯学習機会の充実	18
2) 家庭教育・地域の子育て環境の充実	23
3) 芸術・文化の推進	24
3 スポーツを通じた人づくり・まちづくり	
1) 生涯スポーツ推進・環境整備と地域活性化	26
資 料	
矢板市教育行政事務点検評価委員会設置要綱	29

## は じ め に

矢板市教育委員会は、やいた創生未来プラン（令和3年度～令和7年度）に示した「多様な教育環境があるまち」、「スポーツを通じた健康づくりを推進するまち」など、本市のよいところ（特性）を見つめ直し、その特性を生かしたまちづくりを推進するため、矢板市教育行政基本方針に基づき、矢板市生涯学習推進計画5期計画等を策定し、教育行政の推進に取り組んでいます。

学校教育の推進では、「子どものよさを伸ばし、ふるさとを愛する心と自ら学ぶ力を育てる教育の実践」を学校教育の指標に掲げ、市内の小中学校と家庭、学校、地域、関係機関が連携しながら、児童生徒の心身共に健全で生きる力を育む教育施策に取り組んでいます。

また、生涯学習の推進では、矢板市がめざす生涯学習による“まち”づくりの理念である「心に彩り 体に潤い 地域の絆で 未来につなぐ人づくり」のもと、市民一人ひとりが生涯各期で学んだ成果を生かした活動を展開し、人と人、組織と組織などをつなぎ広げることによって、個々の生活の質を高め、個性と活気にあふれた“まち（地域社会）”づくりを実現するために、生涯学習館、矢板、泉、片岡公民館、図書館、矢板武記念館などの各施設を拠点に、家庭教育、学校教育、社会教育の推進に向け各種事業に取り組んでいます。

教育委員会が行う各種事業や施策については、矢板市教育行政基本方針に基づき、毎年、内部の評価・点検に加え、教育委員会や議会、区長会、家庭教育、文化、スポーツ、青少年等の団体の代表者や学識経験者等で組織する社会教育委員会、公民館運営審議会、図書館協議会の審議を経て次年度の施策を検討し、見直しや改善を行い、具体的な事業内容を計画し、教育要覧にまとめています。

一方、各種事業や施策の執行については、事業の進捗状況や事業推進にあたっての問題課題を把握、情報の共有を行い、その都度、成果の評価・点検を行いながら、事業執行や事業改善、修正に努めるとともに、重要事項などについては、毎月開催する教育委員会定例会で審議し、各種施策の展開を図り、教育行政の推進に努めています。

本報告書では、教育委員会が令和3年度に実施した各種事業について、学識経験者の視点から点検と評価をいただいた内容をまとめたものです。

この点検と評価を市民の皆様公表し、ご意見等をお寄せいただき、次年度の事業改善、計画づくりに生かし、より充実した教育行政の推進に努めてまいります。

令和4年8月

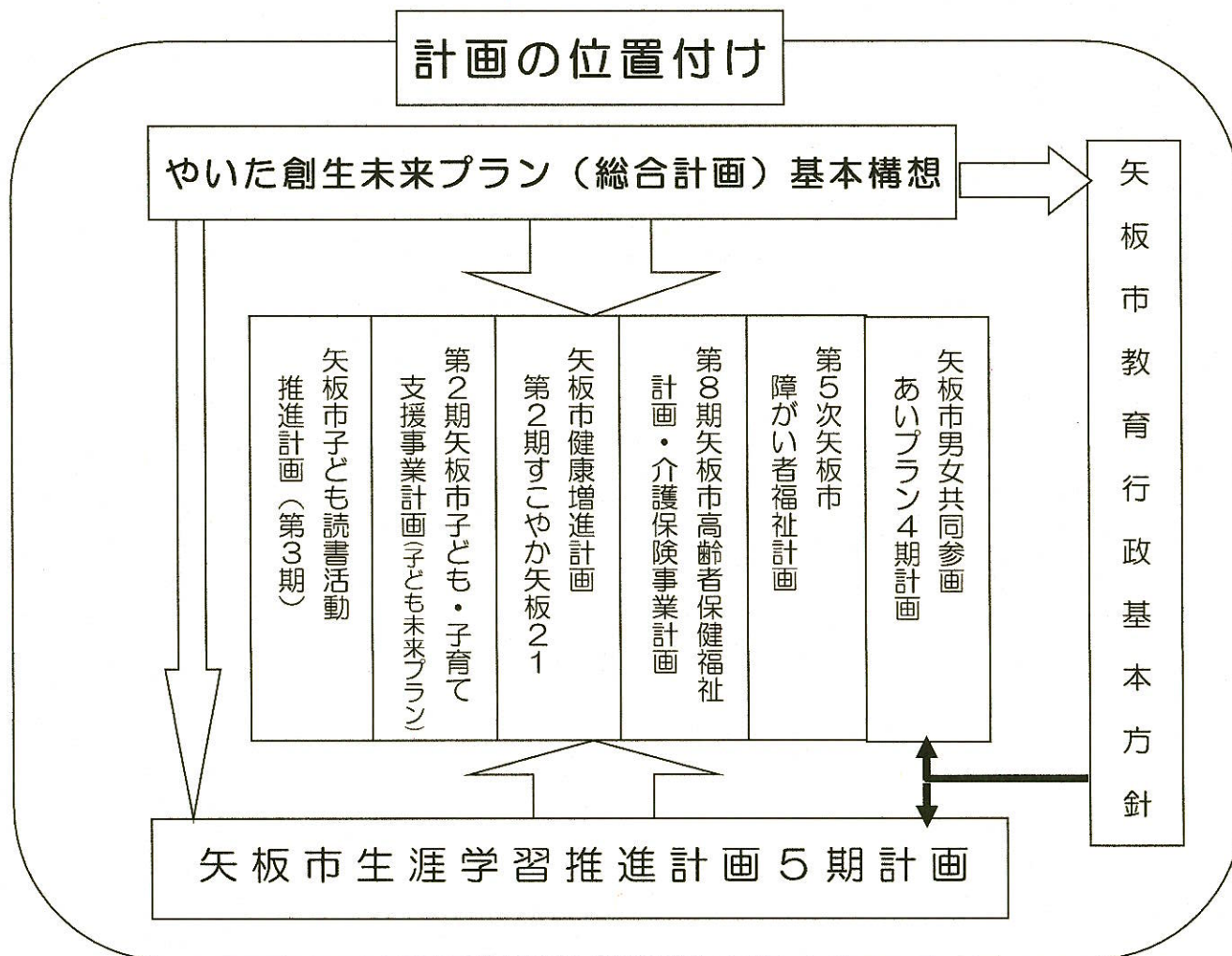
矢板市教育委員会

## 矢板市教育行政基本方針

- 1 人間尊重の立場に立った豊かな人間性と生きる力を育てる学校教育の充実
- 2 心のふれあいと人と人、組織と組織がつながり合う社会教育の振興
- 3 高原山の自然を背景にしたうるおいのある芸術文化の振興と文化財保護活用の推進
- 4 健康で明るい一人スポーツの推進
- 5 家庭教育力の向上

矢板市教育委員会は、あらゆる機会を通じて学校教育・社会教育・家庭教育相互の連携と調和を図り、生涯にわたって能力や個性を伸ばし、自己教育力向上のために協力し、継続的な計画を策定し、地域住民全体の合意を得て、地域との連携を図りながら、その目的を達成するために、上記の項目を掲げ、本市教育行政の推進を図るものである。

### 計画の位置付け



## I 教育委員会の点検・評価の概要

### 1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、矢板市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果を公表し、教育行政の適切で効果的な執行等を推進し、合わせて市民に対して矢板市の教育行政の取組について説明責任を図ることを目的としています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋（平成27年4月1日施行）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検・評価の対象

(1) 令和3年度教育委員会活動状況

(2) 矢板市教育行政基本方針に基づき、教育委員会が実施した学校教育の振興、生涯学習・社会教育の振興、芸術文化の振興、文化財の保護活用、スポーツ振興に関する令和3年度の各種施策のうち具体的な事務事業の主なもの。

### 3 点検・評価の構成

矢板市教育行政基本方針に基づく施策体系の視点ごとに次のとおり構成しています。

- (1) 事業の目的／施策の主なものについて目的を掲載
- (2) 施策の対象者／施策の対象者を掲載
- (3) 今年度の目標／施策の主なものについて目標を掲載
- (4) 施策内容／施策の主なものについて実施状況・実施値等を記載
- (5) 課題／施策内容に基づき課題を掲載

### 4 点検・評価の方法

- (1) 自己評価／各主管課による自己評価を実施
- (2) 委員評価／評価委員から評価と意見の聴取

### 5 外部評価委員（学識経験者）

「矢板市教育行政点検評価委員会設置要綱」に基づき、学校教育、社会教育等教育行政に識見を有する評価委員を教育委員会が委嘱します。

＜評価委員＞

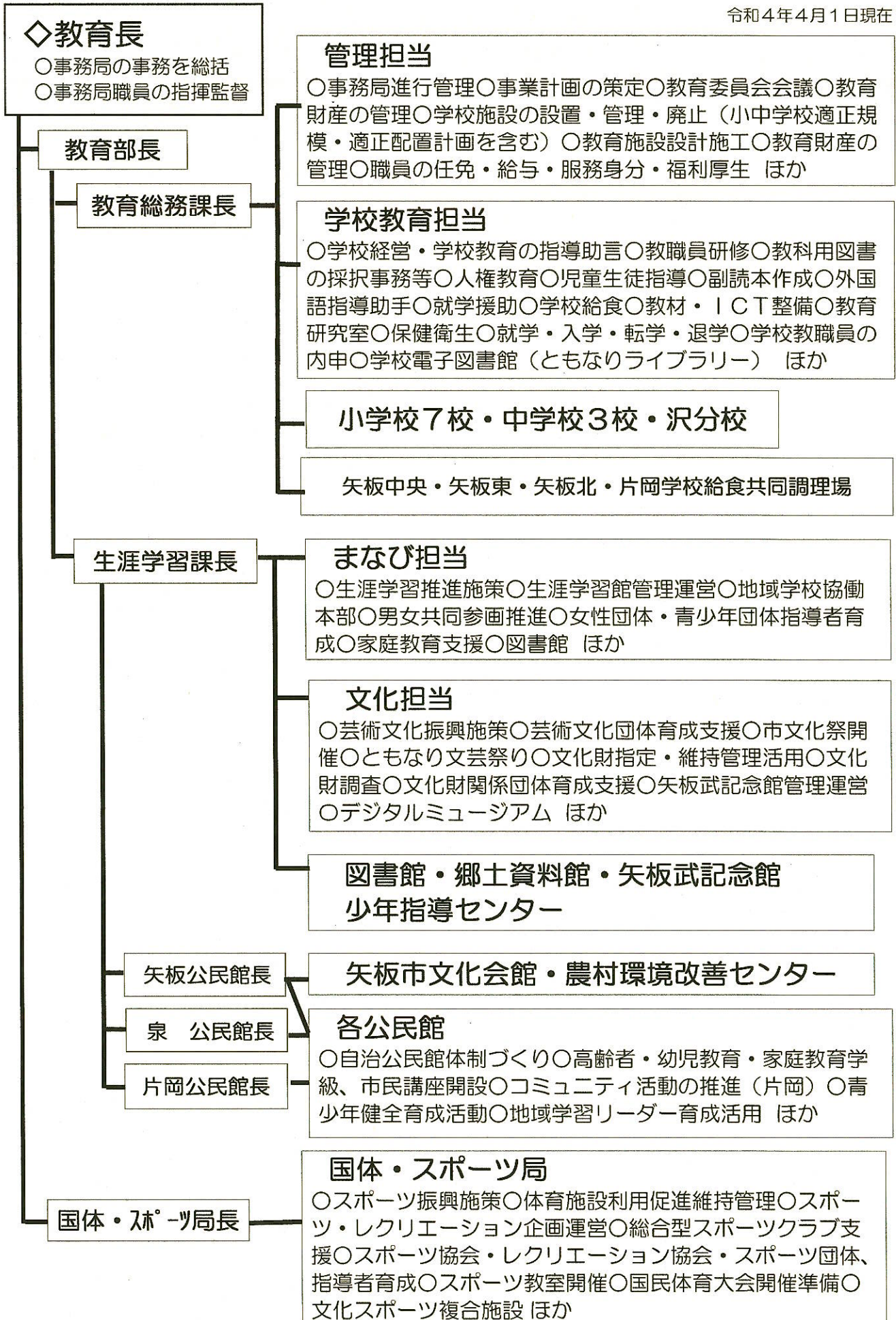
No.	評価委員	職名
1	石川 幸夫	学識経験者（元矢板小学校長）
2	齋藤 典子	学識経験者（矢板市女性団体連絡協議会監事）
3	鈴木 康子	学識経験者（元市役所職員）

### 6 議会への報告及び公表

矢板市議会に報告書を提出するとともに、矢板市公式ホームページに掲載し公表します。

## II 教育委員会事務局の組織・事務分掌

令和4年4月1日現在



### Ⅲ 令和3年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 4月19日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 新型コロナウイルス対策について(経過) (2) 泉小学校学校運営協議会の設置について (3) 事業の後援・共催について (4) 矢板市文化体育複合施設整備基本計画の概要について 議 事 (1) 区域外就学承諾願について (2) 学区外学校就学許可願について (3) 矢板市教育行政基本方針(案)について (4) 矢板市人権教育基本方針(案)について (5) 矢板市教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
定例会 5月17日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 長欠児童生徒の推移について (2) 令和3年度中学校等卒業者の進路状況調査の結果について (3) 中学生海外派遣事業の中止について (4) 事業の後援について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について (3) 学校評議員の任期について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3
定例会 6月21日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 第367回矢板市議会臨時会について (2) 第368回矢板市議会定例会について (3) 令和2年度要保護準要保護児童生徒援助費実績について (4) 令和3年度矢板市特色ある学校づくり推進事業について (5) 社会教育委員等の委嘱について (6) 図書館協議会委員の委嘱について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 1 社教主事 1

### Ⅲ 令和3年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 7月12日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 矢板市立図書館 電子書籍の導入について (2) 文化・スポーツ複合施設整備の進捗状況について (3) 事業の後援について 議 事 (1) 令和4年度使用中学校用教科用図書 社会(歴史的 分野)の採択について (2) 令和4年度使用小中学校特別支援学級用教科用図書 の採択について (3) 学区外学校就学許可願について (4) 区域外就学承諾願について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
定例会 8月16日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 「山縣有朋記念館別館」の文化財登録について(国 登録有形文化財) (2) 事業の後援について 議 事 (1) 豊田小学校の東小学校への統合に係る条例等の改正 について (2) 学校給食共同調理場の統合並びに配送校及び運営方式 の変更に係る条例等の改正について (3) 空調設備使用料の新設に係る矢板市行政財産使用料 条例の改正について (4) 電子図書館の開設に係る矢板市立図書館管理運営規則 の改正について (5) 学区外学校就学許可願について (6) 区域外就学承諾願について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
定例会 9月21日(火) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 第369回矢板市議会定例会について (2) 令和3年度「教育委員会の点検・評価」について (3) 緊急事態宣言下における市立小中学校の対応について (4) 令和3年度全国学力・学習状況調査及びとちぎっ子 学習状況調査の結果について (5) 家庭学習ノートコンテストについて (6) いちご一会とちぎ国体リハーサル大会について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について	委 員 4 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 2 社教主事 1



### Ⅲ 令和3年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 10月18日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	議 事 (1) 第369回矢板市議会定例会について (2) 矢板市電子図書館、矢板市デジタルミュージアムの利用状況について(緊急事態宣言下の利用状況) (3) 令和4年成人式について (4) 矢板市文化スポーツ複合施設の基本設計の策定及び当該基本設計に係るパブリックコメントの実施について (5) 学童保育等を利用する児童がオンライン授業を受けられる場の提供について 報告事項 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について (3) 小規模特認校入学(転入学)申請について	委 員 4 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 2
定例会 11月15日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 令和4年度予算要求について (2) 矢板市立小中学校適正規模・適正配置計画(第2期)保護者説明会の開催結果について (3) 第23回ともなり文芸祭り応募状況について (4) 山田ミヤコタナゴ生息池生息状況調査報告について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3
定例会 12月13日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 第370回矢板市議会定例会について (2) 家庭学習ノートコンテスト結果報告について (3) 「遊びに行くべ!~お正月遊びを楽しもう~」の開催について (4) 事業の後援について (5) その他 ・冬休みお楽しみ企画「タブレット de ぐるぐるマラソン」 ・矢板市文化スポーツ複合施設基本設計パブリックコメント結果 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について (3) 矢板市小中学校小規模特認校設置要綱の一部改正について (4) 矢板市立小中学校統合準備金交付要綱の制定について (5) その他 ・総合教育会議テーマ「矢板市立小中学校適正規模・適正配置計画」	委 員 4 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1

### Ⅲ 令和3年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 1月17日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 定例監査について (2) 生涯学習館の改修工事について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
定例会 2月14日(月) 午後4時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 矢板っ子輝き大賞について (2) 学校歯科医の変更について (3) 事業の後援について (4) その他 ・市内小中学校のコロナ感染状況について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について (3) 教育委員会事務決裁規程の改正について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
臨時会 3月7日(月) 午後4時30分 生涯学習館 2階教育長室	議 事 (1) 令和4年度教職員人事異動(案)について (2) 令和4年度矢板市教育委員会事務局職員人事異動(案)について	委 員 4 部長兼課長 1 課長補佐 1
定例会 3月14日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室2	報告事項 (1) 豊田小学校統合に伴う沢分教室の変更について (2) 矢板市内小学生進学先について (3) 学校医等の報告について (4) 矢板市地域部活動実績報告について (5) 矢板武記念館シダレザクラライトアップの実施について 議 事 (1) 準教科書の使用について (2) 学区外学校就学許可願について (3) 区域外就学承諾願について (4) 矢板市教育委員会事務局組織規則の改正について (5) 矢板市教育委員会申請書等の押印の省略に関する規則の改正について	委 員 4 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 2 社教主事 1

## IV 施策の点検・評価一覧

NO	基本目標	基本施策			具体的施策	評価	
						自己評価	委員評価
1	1 小中学校教育の充実	1	幼小の連携	①	幼小連携の推進	A	A
2		2 特色ある教育の展開		①	ICT教育の推進	A	A
3				②	学校における読書活動の推進	A	A
4				③	学習講座等の支援	B	B
5		3	教育相談体制の充実	①	いじめ、不登校等教育相談	B	B
6		4 教育環境の整備		①	学校施設大規模改修事業	A	A
7				②	適正規模・適正配置計画	A	A
8		5	地域と学校の連携・協働の推進	①	地域学校協働活動の推進	B	B
9	2 生涯学習の推進	1 生涯学習機会の充実		①	生涯学習情報の収集・発信の強化	B	B
10				②	多様な学習機会の提供	B	B
11				③	男女共同参画の推進	B	B
12				④	青少年の健全育成・参画・活躍の機会充実	B	B
13				⑤	社会教育施設の運営・整備	A	A
14		2	家庭教育・地域の子育て環境の充実	①	子育て環境づくりの推進	B	B
15		3 芸術・文化の推進		①	芸術文化の普及と向上	B	B
16				②	文化財の保護と活用	B	B
17	3 スポーツを通じた人づくり・まちづくり	1 生涯スポーツ推進・環境整備と地域活性化		①	生涯スポーツの推進、スポーツ等活動振興	A	A
18				②	スポーツ施設の機能拡充	B	B
19				②	スポーツツーリズム事業との連携事業との連携	B	B

※ 評価ランク A/十分な成果である、B/概ね良好、C/改善等を検討、D/改善が必要

## Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-1-①	施策名	幼小連携の推進	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	51	85	100	15	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	小1プロブレム解消のため、就学前の幼稚園及び保育園(保育所)での教育から小学校教育へなめらかに確実な接続を行うとともに、児童ひとりひとりへのきめ細かな指導が図れるよう幼稚園、保育園(保育所)と小学校間での連携を強化する。(R3・4年度「とちぎの幼小カリキュラム接続プロジェクト」事業の実施)				
施策の対象者	小学生、未就学児、幼稚園教諭、保育園保育士、小学校教諭等				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児一人ひとりの抱える課題を解決するため、各園を訪問し、適切な教育支援を行い、幼小情報交換会で小学校へ情報提供する。その際、共通の支援シートで、幼稚園、保育園(保育所)が同じ観点で小学校に伝達できるようにする。</li> <li>児童や保護者の困り感ばかりでなく、担任の困り感にも寄り添い、指導方法についても共に考える。</li> <li>幼小の先生方が一緒に研修する機会を設ける。</li> </ul>				
施策内容 (実施状況) 実施値等	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼小連携巡回相談(幼保22回、小6回)において、全ての幼稚園や保育園(所)、また、訪問希望の小学校を訪問することで、支援が必要な児童の保護者や指導者への支援を円滑に行うことができた。</li> <li>市内全ての幼稚園、保育園(保育所)、小学校の関係者が一堂に会し、栃木県総合教育センターより講師を招いて合同研修(1回)や情報交換(2回)を行った。</li> <li>幼稚園での実際の様子を観察したり、教諭や保育士が互いに交流、情報交換することで、子どもたちの様子を同じ視点で把握することができ、更に入学後を見通した指導方針を立てることができた。</li> </ul>				
課題及びその対応策	特別な支援が必要な児童については、保護者の理解を得ることが難しい場合がある。適切な学びの場について、関係機関と連携しながら、さらに丁寧に保護者と相談していく。				

### ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	関係者の情報の共有が図られ、小1プロブレムの解消に繋がる取組みとなり、送り出す側の心配も減少した。入学後の様子も伝える場を設定し、更なる接続を図った。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	幼小が一堂に会すことで、効率的に情報交換会を行うことができた。合同研修会を実施し、幼児教育と小学校教育の違いを意識して接続することの重要性を考えることができた。	
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	費用を抑えながら各施設を訪問し、保育士や教員に対して、具体的な指導方針やうまくいっている対応について共通理解することができ、合同研修会も充実できた。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	児童一人ひとりを考える情報交換会において、個に応じた指導方法や家庭環境など、小学校で必要な情報が得られるため、その情報がクラス分けに生かされ、その後の小学生生活の円滑なスタートに繋がった。	
評価結果	34	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	34	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	A
委員の意見	今後も、学校と幼・保の交流の場を多く設け、心配のある子どもに対して保護者と話し合い、学びの場に隔たりがないよう支援していただきたい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-2-①	施策名	ICT教育の推進	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	1,270	2,224	10,575	8,351	
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独	□：その他	
事業の目的	ICT機器及び視覚的なソフトを整備し、有効活用することにより、主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。				
施策の対象者	市立小中学生、教諭等				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板市ICT活用調査研究会を発足し、各学校におけるICT教育の推進を図る。</li> <li>・指導者用デジタル教科書を全小中学校に5教科分(国語、算数・数学、社会、理科、英語)整備する。</li> <li>・タブレット端末で活用できるAI型デジタルドリルを配備する。</li> <li>・大型電子黒板を配備し、大型電子黒板の活用について検証する。</li> </ul>				
施策内容 (実施状況) (実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全児童生徒を対象にした「タブレット端末活用状況調査」を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「タブレットを使った授業はわかりやすい」は、約90%がわかりやすいと回答</li> <li>・「授業でもっとタブレットを使いたい」も、約80%以上が使いたいと回答</li> </ul> </li> <li>○矢板市ICT活用調査研究会を月に1回開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>片岡小と矢板中においては、タブレット端末と大型電子黒板を活用した公開授業を行った。</li> </ul> </li> <li>○県内の市町(足利市、茂木町)がICTを活用した授業について視察に訪れた。</li> <li>○指導者用デジタル教科書を全小中学校に5教科分(国語、算数・数学、社会、理科、英語)整備した。</li> <li>○文科省の学習者用デジタル教科書実証事業に全小中学校が参加した。</li> <li>○臨時交付金を活用し、AI型デジタルドリル5教科分を全小中学生が使用した。</li> </ul>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIドリルの使用料…教材費として保護者に負担していただいている市町がある。矢板市は市で負担しているが、今後の費用負担者について検討していく必要がある。</li> <li>・授業におけるICTの効果的な活用、情報活用能力と情報モラルの育成が県全体でも課題となっている。そのため、矢板市においては、令和4年度に各学校で情報活用スキルに長けている教員を校務分掌で「GIGAスクールリーダー」に任命し、課題解決のため校内でリーダーシップを發揮してもらおう。</li> </ul>				

## ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	有効に活用している。ICTの活用を機に教員が授業力向上に取り組むようになってきた。今後も引き続き実態調査を実施し整備予定について検討していきたい。	
手法の効率性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	デジタル教科書やドリルの有効活用により、効率的な授業展開ができるようになった。また、タブレット導入により、配布物の印刷省略化など、教員の負担軽減にも繋がった。	
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	臨時交付金や国の実証事業を活用し、市費の事業費を抑制できたため、費用対効果は高い。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	各学校と協議し、計画通り整備できた。更に「深い学び」につながるよう、調査研究活動を進めていきたい。	
評価結果	37	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	37	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	A
委員の意見	授業のデジタル化が進む中、デジタルのドリルや教科書を効果的に活用できるように、教員の活用能力スキルアップが必要である。デジタル教材費の保護者負担については慎重に検討してほしい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-2-②	施策名	学校における読書活動の推進	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	10,431	28,744	15,749	△ 12,995	
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独	■：その他(寄附)	
事業の目的	学校が学校図書館の機能を十分に活用できるよう支援し、学校図書館の充実に向けた施策を推進することが重要であるため、児童生徒の興味・関心に応じて、自発的・主体的に読書や学習を行う場として、また読書を介して創造的な活動を行う場としての環境整備を行うことを目的とする。				
施策の対象者	市内小中学生				
今年度の目標	学校図書館の充実に向けて、環境整備を進めるとともに、子どもたちの読書活動の推進を図る。 ・学校図書館の円滑な運営を図るため、会計年度任用職員(SSS)を全校に配置(小学校8人 中学校3人) ・蔵書の整備(各学校における図書への購入) ・GIGAスクール構想による1人1台タブレット端末を活用した学校電子図書館(ともなりライブラリー)の活用や市立図書館とのタイアップによる読書量の増加を目指す。				
施策内容 (実施状況 実施値等)	・読書量調査(前年比:小学校69%増、中学校17%増) ・学校電子図書館「ともなりライブラリー」の活用促進(GWお楽しみ企画 スタンプラリー等開催) ・学校と市立図書館連携のための協議会(年2回) ・図書購入実績 小学校1,186冊 中学校 576冊 ・読書推進活動(読み聞かせ 月1回程度) ・電子書籍購入実績 405冊(合計 4,365冊) ・市立図書館(主に電子図書館)とのタイアップ ・図書事務スキルアップ研修(年3回) ・図書室の環境整理(蔵書管理・貸出)				
課題及びその対応策	・前年度の大きな課題であった人材の確保について、今年度から、図書事務員を会計年度任用職員(SSS)として全校配置ができた。 ・学校電子図書館「ともなりライブラリー」は、授業等において積極的な活用を図るため、学習指導要領に沿った電子資料の整備等を行うとともに、さらなる読書活動の推進を目指す。 ・ともなりライブラリーについては、教職員に向けた周知や研修が必要であるため、今後ICT研修と絡め、教職員のスキルアップを図る。				

## ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	読み聞かせや家読(うちどく)に加え、学校電子図書館の活用促進(イベント開催も含む)により、子どもたちの読書への関心が高まった。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	基幹校では電子管理システムを導入する等効率的な図書館運営に努めている。GIGAスクール構想により、家庭においても学校電子図書館が利用可能となったため、読書環境の向上に繋がった。	
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	電子書籍購入にあたり、コロナ交付金や寄附金等の活用により、事業費(市費)を抑制できたので、費用対効果は高い。	
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	学校電子図書館(ともなりライブラリー)の活用促進等により、特に小学生の読書量が向上した。また、今年度、全校に図書事務員(SSS)を配置できたことは、大きな改善に繋がった。	
評価結果	34	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	34	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	A
委員の意見	学校電子図書館の導入により、児童生徒の読書量が向上したことは大きな成果である。今後は全校に配置された図書事務員を中心に、市立図書館とタイアップすることによりさらなる読書量の向上に努めてほしい。また、授業等における学校電子図書館の積極的な活用を望む。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-2-③	施策名	学習講座等の支援	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度		令和3年度	前年度比
	869	517		1,065	548
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> : 市単独 <input type="checkbox"/> : その他				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢検・数検・英検の合格を目指して個に応じた学習を行うことにより学力の向上を図る。</li> <li>・自主学習方式で学習を支援し、学ぶ楽しさを感じさせる。</li> </ul>				
施策の対象者	市内小中学生				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>【漢検・数検・自主学習講座】</li> <li>・漢検・数検の合格を目指して自主的に学習することを通して、学力の向上を図る。</li> <li>【ともなり学習教室】</li> <li>・塾に通えなかったり、学習の仕方が分からなかったりする児童生徒に対して、学習の機会を与え、学力向上を図る。</li> <li>【英語検定学習講座】</li> <li>・中学生を対象に、英検3級以上の合格者を増やすため、外国語指導助手を活用し受験対策を行う。</li> </ul>				
施策内容 実施状況 実施値等	<ul style="list-style-type: none"> <li>【漢検・数検・自主学習講座】</li> <li>・6月～2月の土曜日 9:30～11:30 実施予定15回のところ、新型コロナの影響により14回開催 参加者39名</li> <li>・講師はボランティア(成人3名、大学生1名、中学生2名) 謝金1回2,000円(中学生は1,000円分の図書カード)</li> <li>・1年間努力した結果、検定に合格したという達成感を味わわせたい。検定の合格率を高めるため、検定前には過去問に取り組む。(合格率 漢検…約90% 数検…88%)</li> <li>【ともなり学習教室】</li> <li>・5月～2月の日曜日 14:00～16:00 実施予定20回のところ、新型コロナの影響により10回開催(開催できなかった分は、教材の添削指導等で支援した。) 参加者17名</li> <li>【英検講座】</li> <li>・8月～12月の土曜日 14:00～16:00 実施予定10回のところ、新型コロナの影響により7回開催し、開催できなかった分は、オンラインによる学習を実施した。参加者29名</li> </ul>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>【漢検・数検・自主学習講座】</li> <li>・子どもと一緒に考えてくれるボランティア講師の確保が難しいので、大学に募集の周知依頼をしていく。</li> <li>【ともなり学習教室】</li> <li>・ボランティア講師の確保が難しいことと、受講者を増やすため、保険料の負担軽減を検討する。</li> <li>【英検講座】</li> <li>・英語力の向上を図るうえで、英検講座だけでなく、学習方法や講座内容について検討していく。</li> </ul>				

### ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	年間の実施回数、1回当たりの時間は、発達段階に適している。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	検定に合格するといった目標をもつことで、意欲的に学習に取り組んでいるが、受講者が定員に達していないため、募集方法の検討が必要。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	ボランティア講師の謝金が1回2,000円で子どもたちの学習をサポートしてもらえるのは有難い。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	参加した子どもたちの学習に対する意欲が向上しており、検定の合格率も高い。	
評価結果	28	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> : 拡大 <input type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)	ランク	B
委員の意見	学習講座等の支援は、児童生徒の学習意欲の向上のために今後も必要であるが、受講者が少ないため、募集方法等の見直しが必要である。また、ボランティア確保にあたっては退職教員の協力が得られるシステムづくりを提案したい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-3-①	施策名	いじめ、不登校等 教育相談	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	5,358	5,896	5,750	△ 146	
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> : 市単独 <input type="checkbox"/> : その他				
事業の目的	いじめに起因する重大事件や不登校の増加は全国の小中学校で大きな問題となっており、本市においても例外ではない。いじめ・不登校の対策として、不登校傾向の場合には適切な対処とともに教育相談を充実させ未然防止を図り、不登校の場合には教育相談や適応指導教室通級から原籍校への復帰を図る。				
施策の対象者	市内小中学生				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板市適応指導教室「チャレンジハウス」での教育相談を充実させる。</li> <li>・教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技能を有するスクールソーシャルワーカー(SSW)を教育総務課に配置することで、市内小中学校と連携し、いじめと不登校の早期発見・未然防止に努める。</li> </ul>				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年度矢板市適応指導教室「チャレンジハウス」</li> <li>・通室生 18名   小学校6名(2年1名 3年1名 5年2名 6年2名)</li> <li>  中学校12名(1年2名 2年6名 3年4名)</li> <li>○矢板市SSWを2名配置</li> <li>○栃木県SSW(1名)を全中学校に配置し、市SSWと連携を図りながら諸問題の解決を図った。</li> <li>○市教委や子ども課主催により、個別ケース検討会議を開催した。(16回)</li> </ul>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の原因が家庭問題に起因するケースが多いため、矢板市子ども課や児童相談所と、さらに連携を図っていく必要がある。解決を焦らず、じっくりと時間をかけて解決を図ろうとする姿勢が必要である。</li> <li>・発達障害がある児童生徒が多いので、今後もスクールカウンセラー等にアドバイスを受け、指導に生かしたい。</li> </ul>				

### ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	不登校児童生徒にとって、チャレンジハウスは学校とは違う環境のため、通室し学習する機会を確保でき、学校復帰へ向けて有効である。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	児童生徒一人ひとりの実態に合わせて活動内容を決めることができるため、その児童生徒にとって必要なことを学びやすい。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	不登校児童生徒の学習機会を確保し、支援の中核的な役割を果たしているチャレンジハウスは、広域での運営により費用を分担しているため、各市町の費用抑制を図れている。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	不登校や引きこもりに陥っていた児童生徒が、通室することで成長できている。中学校3年生は全員進学することができた。	
評価結果	28	A (31点以上)    B (30~22点) C (21~13点)    D (12点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	B
委員の意見	いじめ、不登校に関する事案の解決には時間を要するため、学校に配置されたスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子ども課との連携を密にして、根気よく問題解決を図るとともに、更なるいじめや不登校の未然防止に努められたい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。



# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	1-4-①	施策名	学校施設大規模改修事業	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	569,135	50,842	142,901	92,059	
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独	□：その他	
事業の目的	<p>市内小中学校施設については、老朽化しているものが多く、児童生徒の安全を確保するためには、大規模な施設改修を行う必要がある。令和2年度に策定した学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に現在の教育内容に適応した施設として整備を行うことを目的とする。</p> <p>R2～3年度 学校体育館(矢板小・矢板中・泉中・片岡中)に、空調設備を設置 R4～9年度 東小学校長寿命化改修事業(R3事前準備) R4年度 矢板小学校体育館トイレ改修</p>				
施策の対象者	市立小中学校				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調設備設置工事：体育館に空調設備を設置する(コロナ禍における避難所としての使用を想定) 矢板小、矢板中、泉中、片岡中(設置台数69台)</li> </ul>				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館への空調設備設置工事(R3.7竣工) 4小中学校で実施(矢板小・矢板中・泉中・片岡中)(工事完了後の設置率 0% → 36.4%)</li> </ul> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空調設備設置率 普通教室 100% 特別教室等 36.2%</li> </ul>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した施設が多いため、優先順位をつけ計画的に改修を行うことが必要であるが、そのための財源確保が課題。</li> <li>空調設備は小中学校の全普通教室に設置されたものの、理科室などの特別教室の設置率は36.2%と低い状況である。今後は、適正配置計画及び学校施設長寿命化計画に基づき、特別教室への設置を検討していきたい。</li> </ul>				

## ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	学校体育館については、学校活動における熱中症対策や、コロナ禍における避難所として活用するために、空調設備の設置は必要であるため、その妥当性は高い。	
手法の効率性	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	国交付金を活用し、2校ずつまとめて発注することにより、施工期間の短縮と事業費の抑制が図られた。	
費用対効果	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	事業実施にあたりコロナ交付金を活用することで、費用(市費)を抑制できたため、費用対効果は高い。	
目標達成度	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	計画どおり、各学校体育館への空調設備設置が完了し、R3夏から稼働を開始した。学校活動における使用のほか、災害時の避難所としての活用体制も整った。	
評価結果	31	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)	ランク	A
今後の方向性	■：拡大 □：現状維持 □：一部修正 □：縮小 □：廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
手法の効率性	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
費用対効果	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
目標達成度	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
評価結果	31	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)	ランク	A
委員の意見	<p>学校施設長寿命化計画に基づき事業は着々と進められているが、施設の大規模改修には莫大な費用を要するため、国・県の交付金等の情報を注視する必要がある。また、統合された学校の空調設備の移設や再利用等、費用を抑えるための方法も検討されたい。</p>			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-4-②	施策名	適正規模・適正配置計画	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	—	—	7,913	7,913	
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> : 市単独 <input type="checkbox"/> : その他				
事業の目的	令和2年9月に公表した「矢板市立小中学校適正規模・適正配置計画」に基づき、各学校の統合期限までに必要な業務を行っていく。 【第1期：R3～7】 R4 豊田小は東小へ統合 ※泉小はコミュニティ・スクール化により存続 R5 川崎小は矢板小(JR西)と東小(JR東)へ統合、泉中は矢板中へ統合 【第2期：R8～13】 R10 乙畑小と安沢小(安沢地区)は片岡小へ統合、安沢小(中地区)は東小へ統合 小中一貫教育の在り方検討				
施策の対象者	市立小中学校				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊田小学校の閉校</li> <li>・ 川崎小学校統合説明会、準備委員会発足</li> <li>・ 泉小コミュニティ・スクール支援</li> <li>・ 片岡地区説明会の開催</li> </ul>				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊田小学校の閉校</li> <li>交流事業の実施、閉校行事の開催支援(市補助金100万円)、スクールバスのルート設定及び配車手配(栃木運輸支局との協議)、東小へバス乗り入れのための敷地整備、例規整備(条例等改正)、閉校式典、統合準備金交付(2万円/人)、備品関係整理、東小への引越し等</li> <li>・ 川崎小学校統合説明会(4/23)、準備委員会発足(6/11)</li> <li>・ 泉小コミュニティ・スクール支援(コーディネーター配置、学校運営協議会設立、会議開催、学校活動支援等)</li> <li>・ 片岡地区説明会の開催(保護者10/30、地域住民12/17)</li> </ul>				
課題及びその対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1期計画に位置付けられた取組は、概ね予定通り進捗しているが、川崎小学校については、借地部分土地の扱いやスクールバス等の課題があるため、関係者と協議しながら次年度方針を決定する。</li> <li>・ 第2期計画の片岡地区小中一貫教育については、地域の実情に即しながら、施設の在り方も含めて検討する必要があるため、次年度庁内組織を設置し検討に着手する。</li> </ul>				

●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	「矢板市立小中学校適正規模・適正配置計画」に基づき、各学校ごとに必要な業務を行うため、その妥当性は高い。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	各学校ごとに、統合期限までに必要な業務が違うため、都度協議を行いながら、漏れの無いよう効率的に作業を進めることができた。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	統合に係る費用については、主に豊田小閉校関係と泉小コミュニティ・スクールに係るものであるが、なるべく費用を抑え実施できるよう努めた。	
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	豊田小学校閉校に係る事務手続きは計画通り完了し、川崎小学校、泉中学校、片岡地区小中学校についても、予定通り目標を達成できた。	
評価結果	31	A (31点以上)    B (30～22点) C (21～13点)    D (12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> : 拡大 <input type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	31	A (31点以上)    B (30～22点)    C (21～13点)    D (12点以下)	ランク	A
委員の意見	「適正規模・適正配置計画」に基づき、効率的な作業手順により、計画通り豊田小の統合が完了した。今後は、次の統合に向けて、学校や関係機関等の連絡を密にし、周到に準備されたい。また、コミュニティ・スクール化により存続する泉小学校において、教育活動の効果を期待する。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-5-①	施策名	地域学校協働活動の推進	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	3,991	6,294	5,016	△ 1,278	
制度区分	<input checked="" type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	矢板市地域学校協働本部を置き、統括コーディネーターを活用して地域住民が学校と連携・協働する仕組みを促進し、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る。				
施策の対象者	市立小中学校児童・生徒及び教員、地域住民、関係機関・団体等				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室の実施。</li> <li>・矢板市地域学校協働本部の設置及び会議の開催。</li> <li>・統括コーディネーターの配置。</li> <li>・生涯学習ボランティアの人材バンクの整備</li> <li>・学校支援ボランティア講座の開催。</li> </ul>				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室を豊田小と乙畑小で実施した。</li> <li>・本部会議を開催した。第1回：6/25(金)、第2回：2/17(水) 書面開催。</li> <li>・統括コーディネーター1名を配置した。</li> <li>・生涯学習ボランティア わYいバンク 登録者数268人 ※前年比±0人(2人減、2人増)</li> <li>学校支援ボランティア要請回数 R3：170回(R2：69回)</li> <li>・学校支援ボランティア講座 受講生：16人</li> </ul>				
課題及び その対応策	地域住民と学校の関係が「支援」から「協働」へ移行することにより、学校だけでなく地域全体が活性化するという目的の共有が課題であり、地域学校協働本部会議やボランティア講座等を通じて共有化を図っていく。				

### ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	教育長を本部長とし、地域の団体や関係団体と小中学校の地域連携教員等が一堂に会し、協働について確認できた。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	新型コロナウイルス感染拡大の状況下でも、ボランティアスタッフや統括コーディネーター、放課後子ども教室の指導員等の努力により、豊田小と乙畑小の放課後子ども教室は、下校時間の変更にも対応し、実施できた。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	地域学校協働本部員やボランティア登録者等、無償での活動が前提であるため、費用は最小限となっている。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	本市ではじめて学校支援ボランティア講座を開催したところ16人の受講生があった。ボランティアスタッフのすそ野拡大に大いに効果があった。またコロナ対策をしながら放課後子ども教室を開催することができた。	
評価結果	28	A (31点以上)    B (30~22点) C (21~13点)    D (12点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	B
委員の意見	矢板市地域学校協働本部を設置し、活動が始まったことは大きな前進である。「支援」から「協働」により、地域の活性化を図るためには、継続的な取組が必要であるため、引き続き地域と連携しながら、取り組んでいただきたい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

## Ⅳ 施策評価シート

施策番号	2-1-①	施策名	生涯学習情報の収集・発信の強化		主管課	生涯学習課 (公民館含む)
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度		令和3年度		前年度比
	724	651		286		△ 365
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他					
事業の目的	市民参加型の生涯学習によるまちづくりを推進するため、市民が主体的に学習する機会の充実を図るため、市民講座などの学習機会やボランティアなど地域貢献活動の活動機会などの情報を収集し発信する。					
施策の対象者	市民					
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習情報の収集</li> <li>生涯学習情報「まなび」の作成のための情報収集及び活用方法の周知。</li> <li>イベントにおける生涯学習情報の発信。</li> </ul>					
施策内容 (実施状況) 実施値等	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習情報を市HP、広報やいた、デジタルミュージアム、ツイッター等で発信した。</li> <li>社会教育委員会議、学校図書館等職員協議会、図書館協議会等を開催し、情報の収集に努めた。</li> <li>矢板市生涯学習推進本部専門部会を開催して庁内各課の情報を収集し、2022年度版を作成した。</li> <li>生涯学習情報「まなび」を電子化することにより、スマホ等で手軽に検索できるようにした。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、秋祭りを楽しもう、フェスタinYAITA等イベントは中止となった。</li> </ul>					
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマホ等デジタル機器のスキルや環境に個人差があるため、誰もが使えて、誰もが使いやすい「まなび」に改善し、使い方についての講座を実施することも検討していく。また、公民館や図書館等、多くの方が利用しやすい箇所に紙の「まなび」も設置する。</li> <li>「アフターコロナ」を見据えた交流イベントの在り方を検討する。</li> </ul>					

### ●自己評価

評価項目	点数	基準		コメント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	生涯学習情報「まなび」をデジタル化したことにより、市民がいつでも手軽に必要な情報が検索できるようになった。		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	紙媒体だけでなく、デジタル化により、生涯学習情報発信の手法は増えたため、効率性は高い。		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	「まなび」を紙からデジタルへ移行したことにより、印刷費が抑えられた。		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	「まなび」をデジタル化したことにより、情報発信の強化につながった。		
評価結果	28	A (31点以上)   B (30~22点) C (21~13点)   D (12点以下)	ランク	B	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止				

### ●委員評価

評価項目	点数	基準			
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)			
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)			
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)			
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)			
評価結果	28	A (31点以上)   B (30~22点)   C (21~13点)   D (12点以下)	ランク	B	
委員の意見	紙媒体で情報を得る方も少なくないと感じる。情報発信をデジタル化一本に限定するのではなく、対象者に応じた柔軟な方法も継続してほしい。				

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	2-1-②	施策名	多様な学習機会の提供	主管課	生涯学習課 (公民館含む)
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	1,501	861	1,067	206	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	生涯にわたって自主的かつ積極的に学習が行われるよう必要な学習活動を支援し、生きがいづくりや社会課題、地域課題、生活課題などのテーマに沿った市民講座を開設する。				
施策の対象者	市民				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催講座：市民の学習要求に柔軟に応える講座を開設する。また、主催講座から自主講座へと移行できるように支援する。</li> <li>・高齢者講座：高齢者の生きがいづくりのための講座を開設する。</li> <li>・家庭教育講座：子育てに関する知識を修得するための講座を開設する。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大状況を注視しつつ、感染防止に努めながら事業を実施していく。</li> </ul>				
施策内容 実施状況 実施値等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主催講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板公民館：6講座 27回 中止1講座1回</li> <li>・片岡公民館：5講座 27回</li> <li>・泉公民館：7講座 39回</li> <li>・農村環境改善センター：4講座 84回</li> </ul> </li> <li>○高齢者講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板公民館：6回 中止1回</li> <li>・泉公民館：5回 中止3回</li> <li>・片岡公民館：6回 中止1回</li> </ul> </li> <li>○家庭教育講座(幼児～中学生) <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板公民館：8回 中止5回</li> <li>・泉公民館：6回</li> <li>・片岡公民館：7回</li> </ul> </li> <li>○自主講座団体の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板公民館：20団体</li> <li>・泉公民館：11団体</li> <li>・片岡公民館：30団体</li> <li>・農村環境改善センター：7団体</li> </ul> </li> </ul>				
課題及び その対応策	受講生の固定化や講師・受講生の高齢化が進んでいることもあり、若い世代や男性の参加が少ない状況となっている。新型コロナウイルスの影響により、前年度より講座への参加を控える市民が多くなっている。今後は、講座の見直しや実施方法の検討を行い、幅広い世代が受講できるよう進めていく。				

### ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	幼児から高齢者まで、年齢層に合った講座が実施されており、また継続的な学習の機会を提供できている。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	受講生が固定化、高齢化しているが、受講生同士の繋がりが強くなっている。また高齢者の出席率が高いため、認知症予防等の健康維持に繋がっている。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	講師料について、講師を市内在住で公民館での実績のある方を優先に依頼し引き受けてもらっていることから費用が低く抑えられている。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	新型コロナウイルスにより、中止や縮小となった講座があったが、ほぼ計画通り開催できた。	
評価結果	28	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)	ランク	B
委員の意見	コロナ禍において、感染症防止対策を講じながら、多くの講座が開催されている。今後とも、講座の内容、ネーミング、開催曜日や時間等を工夫して、新規の受講生の確保を願う。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	2-1-③	施策名	男女共同参画の推進	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度		令和3年度	前年度比
	324	249		77	△ 172
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> : 市単独 <input type="checkbox"/> : その他				
事業の目的	男女共同参画社会の実現に向け、矢板市男女共同参画計画あいプラン(4期計画)を推進する。				
施策の対象者	市民				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板市男女共同参画計画あいプラン(4期計画)の推進と評価。</li> <li>・女性団体等への指導・支援。</li> <li>・男女共同参画に関する学習機会の充実。</li> </ul>				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板市男女共同参画計画あいプラン(4期計画)の中間アンケート調査の結果を集計し、市HPにて公表した。</li> <li>・女性団体連絡協議会や婦人会、グループあいへの支援、情報提供等の実施。</li> <li>・研修会「男女共同参画を考えるとちぎ県民のつどい『めざそう！女性の参画で切り拓く未来』」に参加。(参加者数：9人)</li> </ul>				
課題及び その対応策	矢板市男女共同参画計画あいプラン(4期計画)の計画期間が令和4年度までとなっているため、次期計画である5期計画を策定し、今後も男女共同参画社会の実現に向けて事業を実施する。				

## ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	あいプラン(4期計画)の中間アンケートの結果を前回調査結果と比較し、グラフ等で視覚的にわかりやすく作成した。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	あいプラン(4期計画)の中間アンケートの結果を市HPで公表することにより、広く周知できた。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	婦人会やグループあいの会員を対象に、オンライン会議や情報提供等にメールやスマホ等を活用するよう、スマホの講習会を職員が講師となって実施した。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	あいプラン(4期計画)の中間アンケートにより、H29年度と比較し、男女が平等と考える機会は増えている結果となった。	
評価結果	28	A (31点以上)    B (30~22点) C (21~13点)    D (12点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基 準	準	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A (31点以上)    B (30~22点)    C (21~13点)    D (12点以下)	ランク	B
委員の意見	メールやスマホの活用に対して、他の女性団体等にも講習会開催の機会を設けていただきたい。また、世代によって、ワークライフバランスといった要望をプラン達成することを施策の一つに取り入れてはどうか。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

## Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	2-1-④	施策名	青少年の健全育成・ 参画・活躍の機会充実	主管課	生涯学習課 (公民館含む)
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	1,494	1,461	1,432	△ 29	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	青少年の健全育成、生きる力、ふるさと意識を育むため、自然体験や生活体験、交流活動の場を提供し、子どもの地域活動への参画力を推進する。また、地域社会の一員として自覚を高め、積極的な役割を果たすことができるよう、青年リーダー研修等により社会参画活動を促進する。				
施策の対象者	市内青少年				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子学び合い事業(ネット時代の歩き方講習会)の開催。</li> <li>・矢板市民の約束「ケータイ・スマホのモラル・マナー」の広報・周知。</li> <li>・少年指導員による街頭指導およびあいさつ運動の実施。</li> <li>・ふれあいカードを活用し、地域活動・ボランティア活動への参加を促す。</li> <li>・子ども会連合会、ジュニアリーダースクラブの活動支援。</li> </ul>				
施策内容 実施状況 実施値等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子学び合い事業(ネット時代の歩き方講習会) 小学校8校、中学校1校 計9校で開催した。</li> <li>・矢板市民の約束を市HP及び生涯学習情報「まなび」で周知した。</li> <li>・街頭指導 27回 延べ従事者128人</li> <li>・あいさつ運動 7月・11月 市立小中学校11校で実施。</li> <li>・ふれあいカードを市立小中学校の児童・生徒に配付し、自治公民館長や子ども会育成会等の役員に対し、ふれあいカードの活用を依頼した。</li> <li>・塩谷南那須地区ジュニアリーダー研修会は、コロナによりオンラインで開催した。</li> </ul>				
課題及び その対応策	子ども会や育成会などの団体活動を通して、地域とかがわりを持たない大人や子どもが増えており、自然や多世代との交流体験や活動が少なくなっている中、子ども育成会やジュニアリーダース等青少年団体の育成と自主的な活動の活性化を図り、指導・助言・支援を行っていく。また、親子学び合い事業(ネット時代の歩き方講習会)の講師養成講座を修了した社会教育指導員3名の活動の拡大を図っていく。				

### ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	小中学生にふれあいカードを配布し、地域活動・ボランティア活動への参加を促すことで、生きる力やふるさと意識を育むための様々な体験の場を提供している。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	ふれあいカードの活用により、地域活動・ボランティア活動へ参加を促している。親子学び合い事業をPTA行事と合わせることで、親子での参加が可能となった。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	親子学び合い事業を実施した9校のうち3校は、栃木県青少年育成市民会議主催事業とすることにより、開催費を軽減できた。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	子ども会や育成会を通し、子どもの地域活動への参画を推進できた。また、親子学び合い事業の開催を希望するすべての市立小中学校において、開催することができた。	
評価結果	28	A (31点以上)    B (30~22点) C (21~13点)    D (12点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A (31点以上)    B (30~22点)    C (21~13点)    D (12点以下)	ランク	B
委員の意見	親子学び合いの事業において、社会教育指導員が知識や経験を活かし、活動の場が広がることは、事業費抑制の面でも大きな成果である。子どもたちが、さらに地域でのボランティア活動に参加できるよう、指導していただきたい。			

# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	2-1-⑤	施策名	社会教育施設の 運営・整備	主管課	生涯学習課 (公民館含む)
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	122,421	89,819	140,039	50,220	
制度区分	<input checked="" type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	社会教育施設(生涯学習館・図書館・公民館・文化会館・農村環境改善センター・郷土資料館)の経年劣化や機能低下を復旧し、長寿命化を図るとともに、土地と建物を有効活用するため、計画的な大規模改修や除却等を行う必要がある。令和2年度に策定した「矢板市公共施設個別施設計画」に基づき、計画的に施設整備を行うことを目的とする。				
施策の対象者	市民及び施設利用者				
今年度の目標	<input type="checkbox"/> 矢板市生涯学習館長寿命化改修の設計及び工事の実施。令和4年8月末までの完了を目指す。 (屋根・外壁防水工事、体育室内装改修工事、北側階段改修工事、空調設備改修工事等) <input type="checkbox"/> 市立図書館 ・電子図書館の導入。 ・市立図書館の指定管理の実施。				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<input type="checkbox"/> 矢板市生涯学習館長寿命化改修工事 設計業務委託 契約期間：R3.10.8～R3.12.23 改修工事 契約期間：R4.2.8～R4.8.30 ※令和4年度へ繰越 <input type="checkbox"/> 市立図書館 ・令和3年8月3日 電子図書館を開設。 コンテンツ数：10,928点 登録者数：5,452人 貸出回数：4,608回 ・指定管理者(株)図書館流通センター 指定期間：5年間(H30～R4)				
課題及び その対応策	老朽化した施設が多いため、優先順位をつけ計画的に改修を行うことが必要であるとともに、財源確保が課題となっている。				

### ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	生涯学習館は建設後30年以上経過しており、特に屋根の劣化が激しいため、建物の長寿命化工事の必要性が高い。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	生涯学習館長寿命化工事では、屋根の防水工事をかぶせ工法とし、工事期間を削減することができた。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	かぶせ工法による屋根の改修工事により、経費も削減することができた。また「公共施設等適正管理推進事業債」の活用により一般財源を抑えることができた。	
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	改修工事については、新型コロナ等の影響により、原材料や機械・器具等の仕入れに遅れが生じる恐れがあったが、予定通り実施できた。	
評価結果	31	A (31点以上)    B (30～22点) C (21～13点)    D (12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	31	A (31点以上) B (30～22点) C (21～13点) D (12点以下)	ランク	A
委員の意見	本市の社会教育施設は、老朽化が進んでいるが、施設改修には多くの費用を要する。しかし、公共施設として、常に風水害等の自然災害に備えておく必要があるため、矢板市公共施設個別計画に沿って、着実な実行を願う。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。



## Ⅳ 施策評価シート

施策番号	2-2-①	施策名	子育て環境づくり の推進	主管課	生涯学習課 (公民館含む)
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	452	233	287	54	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	家庭・学校・地域・関係機関との連携を図りながら、子育てしやすい環境づくりと家庭教育力の向上を図ることを目的とする。				
施策の対象者	未就学児～小・中学生及び保護者				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て講座の開催。</li> <li>・家庭教育学級の開設。</li> <li>・家庭教育の手引き「子育てナビ」の作成・配付</li> <li>・オンライン子育て交流会の開催</li> </ul>				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て講座の開催 対象者：就学時健康診断を受ける子どもの保護者 実施回数：7回 参加延べ人数：208人</li> <li>・家庭教育の手引き「子育てナビ」の作成・配付 作成部数 300冊</li> <li>・家庭教育学級 矢板・泉・片岡公民館で実施。実施回数：21回 参加者延べ人数：354人</li> <li>・オンライン子育て交流会の開催 対象者：就学時健康診断を受ける子どもの保護者 実施状況：6回 参加延べ人数：10人</li> </ul>				
課題及び その対応策	少子化により事業対象者が減少している上、新型コロナの影響により参加人数が減少している。今後は、保護者同士の情報交換の場の提供を含め、効果的な子育て講座の在り方を検討し「子育てナビ」の改訂を重ねていく。また、小学校の中・高学年を対象とした「子育てナビ」の作成についても検討していく。				

### ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	家庭教育学級は、新型コロナに留意しながら開催し、ドローンやツリークライミングなどの体験を通して仲間づくりをすることができた。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	就学時健診の待ち時間を子育て学習を実施することで、効率的に保護者全員が参加でき、待ち時間を有効活用できた。また新型コロナ対策としてオンラインでの交流会を開催した。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	子育てナビの1冊当たりの単価を抑えることができた。また就学時健診び空き時間に実施するため、参加者の移動費や労力の負担軽減になっている。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	7か所すべてで参加者の満足度のアンケートを実施したところ、「わかりやすかった」「楽しかった」など7割以上の方の満足度が高かった。	
評価結果	28	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	B
委員の意見	子育て講座の参加者アンケートにおいて、7割が「満足」と回答したが、残り3割の満足していない部分を参考にして、今後の事業展開を期待する。家庭教育学級の必要性は高いと思われるので、内容を充実しながら今後もしっかり取り組んでいただきたい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	2-3-①	施策名	芸術文化の普及と向上		主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度		令和3年度		前年度比
	1,835	1,555		1,585		30
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独		□：その他	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化の普及と向上のため、学習や発表機会の充実を図る。</li> <li>・文芸人口の拡大のため、歌人「塩谷朝業」にちなみ文芸の振興を図る。</li> <li>・関係団体の育成、文化活動の支援を行う。</li> </ul>					
施策の対象者	一般、団体					
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭の開催</li> <li>・ともなり文芸祭り(誌上大会)の開催</li> <li>・ともなり文芸祭り応募方法の検討(市立小中学校児童生徒のオンライン応募)</li> <li>・芸術文化団体補助金の交付</li> </ul>					
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭開催 11月1日～3日 作品展示：259点(前年度297点)</li> <li>※コロナ禍での開催のため、出品作品数を制限し新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施。</li> <li>芸能発表会及び茶会については中止</li> <li>・ともなり文芸祭り開催(応募総数 R3：5,263点 R2：6,354点)</li> <li>短歌(1,393)、俳句(1,995)、川柳(1,280)、詩(595)各種目実施。※( )は応募作品数</li> <li>市立小中学校児童生徒の応募について、オンラインで応募できる専用フォームを構築</li> <li>※オンライン応募件数3,673点</li> <li>・芸術文化団体補助金、交付金 矢板ウインドオーケストラ 30千円 矢板市文化協会 190千円※返還</li> </ul>					
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭芸能発表会についてはコロナ禍により実施できずに経過しているため、委託している文化協会と協議し発表できる機会を検討する。</li> <li>・ともなり文芸祭り</li> <li>今後は、小中学生以外の参加者についてもオンライン応募ができるようシステムの構築を検討する。</li> <li>・文化芸術団体育成のため、活動支援等検討する。</li> </ul>					

### ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の妥当性	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	文化祭、ともなり文芸祭り両イベントは市民の文化・芸術活動の成果発表をする貴重な機会であり、芸術文化活動推進のためにも今後も開催は必要。
手法の効率性	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	文化祭運営については、文化協会に業務委託している。ともなり文芸祭りでは、今回から市立小中学校の児童生徒は直接オンライン応募をすることができるようになり、事務の効率化が図られた。
費用対効果	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	文化祭業務については、運営ノウハウを持つ文化協会への業務委託により費用を抑え効率的に運営することができた。ともなり文芸祭りはオンライン応募により事務の効率化を図ることができた。
目標達成度	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	十分なコロナ感染拡大防止策を講じた上で、文化祭を実施することができた。ともなり文芸祭りでは試験的に実施したオンライン応募について、経費節減や事務の効率化を図ることができたため、次年度にむけて本格的なシステムを構築する。
評価結果	28	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)	ランク B
今後の方向性	□：拡大 ■：現状維持 □：一部修正 □：縮小 □：廃止		

### ●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の適正化	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	
手法の効率性	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	
費用対効果	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	
目標達成度	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	
評価結果	28	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)	ランク B
委員の意見	今年度は、市内小中学校の児童生徒の応募について、オンライン方式をとるなど、毎年応募方式を工夫する努力をしている。年々応募作品が減少していることは残念であるが、引き続き創意工夫をもって取り組んでいただきたい。		

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	2-3-②	施策名	文化財の保護と活用	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	19,021	17,010	9,866	△ 7,144	
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独	■：その他	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がオンラインにより文化情報に触れることのできる環境を構築する。</li> <li>・那須野が原開拓日本遺産の活用・普及啓発に取り組む。</li> <li>・郷土の偉人「矢板武」の功績を後世に伝え、郷土の関心を高める。</li> <li>・文化財の保護、活用事業の促進を図るとともに、文化財保護団体への補助等を行うことにより文化財の適切な保護と活用を図る。</li> </ul>				
施策の対象者	一般、団体				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財のデジタル化を進め、矢板市デジタルミュージアムにアップする。</li> <li>・日本遺産活用推進協議会と連携し、構成文化財の活用を図る。</li> <li>・矢板武記念館シダレザクラのライトアップの実施と来館者専用駐車場の確保。</li> <li>・天然記念物(樹木)の消毒、ミヤコタナゴ生息池環境調査の実施。</li> </ul>				
施策内容 実施状況 実施値等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○矢板市デジタルミュージアム ※ページ別訪問件数42,744件(令和4年3月31日まで)</li> <li>・荒井家住宅、矢板武記念館のストリートビュー作成 ・木幡神社の馬頭観音像の3D化や責善館文庫の一部デジタル化などを実施</li> <li>○日本遺産構成文化財の活用</li> <li>・明治貴族の復元衣装(大礼服とドレス)の展示。(市立小学校6校、生涯学習館にて展示)</li> <li>・山縣有朋記念館別館の国登録有形文化財への登録(10月4日)</li> <li>○矢板武記念館 ※入館者数 814人(R2:2,109人)</li> <li>・入館料の値上げを実施。(1人100円→150円、団体1人60円→90円)</li> <li>・シダレザクラライトアップの実施。期間中の入館者数は1,134人。(R2 826人)</li> <li>・ライトアップの期間中は入館無料。観覧会は中止。</li> <li>・来館者専用駐車場(3台分)の賃貸借契約締結</li> <li>○文化財の保護・活用</li> <li>・天然記念物「泉のエノキ」樹勢回復事業を実施。</li> <li>・ミヤコタナゴ生息調査を実施。 ※ミヤコタナゴ生息数 126匹(R2 118匹)</li> <li>・高原山環境保全パトロールの実施。 ※文化財愛護協会との共催</li> </ul>				
	課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルミュージアムについては、文化財のデジタル化を進めるとともに、児童生徒が学習で活用できるようなコンテンツの充実を図る。</li> <li>・日本遺産構成文化財の活用と普及啓発を図る。</li> <li>・コロナ禍により、矢板武記念館入館者が減少するなかR4年度は「矢板武没後100年」のイベントを実施。感染拡大防止策を行い、さまざまなイベント開催を検討する。</li> <li>・休館中の郷土資料館の大規模資料整理と再整備を検討する。</li> </ul>			

### ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	コロナ禍が続くなか、「新しい生活様式」に即したデジタルミュージアムの運営は、市民が自由に文化情報に触れることのできる環境であるため、その妥当性は高い。また、3密を避けるため屋外や開催施設を分散させる方法で、イベントを開催することができた。
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	文化財のデジタル化では文化財取扱いのノウハウを持つ業者に委託することで、高精細な映像を掲載できた。文化財の保存・活用については関連団体の協力のもと、生息調査や保全パトロールを実施することができた。
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	泉のエノキの樹勢回復については、民間の補助金を活用、文化財等のデジタル化については、コロナ交付金を活用し費用を抑制できた。また、貴重な文化財を展示により痛めることなく保管することができるようになった。
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	デジタルミュージアムのコンテンツを増やすことができた。また、前年度から申請していた山縣有朋記念館別館を国登録とすることができた。武記念館では懸案の一つであった来館者専用駐車場の確保をすることができた。
評価結果	28	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク    B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止		

### ●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
評価結果	28	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク    B
委員の意見	文化財の保護・活用について、一つ一つ課題を克服しながら多くの事業を実施し、成果を上げている。努力に感謝しつつ、次のステップに期待したい。		

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	3-1-①	施策名	生涯スポーツの推進、 スポーツ等活動振興	主管課	国体・スポーツ局
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	10,027	8,291	9,268	977	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	市民一人ひとりがスポーツ・レクリエーションに親しむための場及び選択肢を確保することによってそれぞれの生涯スポーツ・レクリエーションを推進を図り、健康の増進、体力の向上、明るく豊かで生きがいのある生活を営むことができる環境を確保する。また、スポーツ・レクリエーションの関わり方として、単に「する」だけではなく「見る」「支える」ことでより多くの市民の参加を図っていく。				
施策の対象者	市民全体				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ・レクリエーション活動を行う方への支援</li> <li>・スポーツ活動の「場」及び「選択肢」の提供</li> <li>・新たなスポーツ・レクリエーション活動のあり方検討</li> </ul>				
〔施策内容 実施状況〕 実施値等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会出場等の交付金、団体運営補助金等による財政支援 大会出場33件2054千円、とちぎFC利用25件93千円、クラブ活動14件495千円 スポーツ協会補助3,350千円、レクリエーション協会補助20千円</li> <li>・スポーツ推進委員等のスポーツ活動を支える人材支援 スポーツ推進委員16名、健康ひろば10回開催、出前講座2回派遣</li> <li>・スポーツ教室等の開催による場及び選択肢の提供      スポーツ教室19教室開催・延20,263人参加</li> <li>・中学生の部活動のあり方、地域移行化の実践研究、検討      矢板中学校6部活動で実施</li> </ul>				
課題及び その対応策	スポーツ・レクリエーション参加者に偏りがちであることから、スポーツに距離のある方の取込みが課題であり、特に女性、障がい者が気軽にスポーツに参画できる環境整備を行う必要があることから、誰でも気軽にスポーツに関わることができるイベントを検討する。				

## ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	スポーツ活動を行う団体、個人に必要な支援を実施し、スポーツの場や選択肢を適切に提供できており、スポーツ・レクリエーションの推進が図れている。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	関係団体、個人の協力を得て効率的に事業を実施できている。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	スポーツ・レクリエーションに参画する方々に適切な費用で効果的に事業を実施している。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	新型コロナウイルス感染症という特殊要因はあるものの、生涯スポーツ・レクリエーションの推進が図れている。	
評価結果	31	A (31点以上)    B (30~22点) C (21~13点)    D (12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	31	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	A
委員の意見	広く参加者を得るためには、まず足を運び体験してもらうことが大切であることから、課題にある「誰でも気軽にスポーツに関わることができる」イベントの企画に期待したい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	3-1-②	施策名	スポーツ施設の機能拡充	主管課	国体・スポーツ局
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	200,330	389,183	129,881	△ 259,302	
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独	■：その他	
事業の目的	単なる生涯スポーツの推進の場としてのみならず、市外からの来訪者を呼び込み地域活性化を推進する場として、屋内外のスポーツ施設の充実を図る。特に新設する文化スポーツ複合施設においては、健康増進、障がい者や女性のスポーツ参画による共生社会の実現、スポーツツーリズムの更なる推進による地方創生・まちづくり、デジタル技術の活用等多様な事業を推進する。				
施策の対象者	市民全体				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板運動公園国体改修</li> <li>・文化スポーツ複合施設の本体設計(本体建設2か年継続事業、R4着工・R5竣工、R6開業予定)</li> <li>・文化スポーツ複合施設整備に係る外構設計</li> <li>・文化スポーツ複合施設に導入する最先端のデジタル技術である未来技術検討、導入</li> </ul>				
施策内容 (実施状況) (実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板運動公園国体改修   緑新スタジアムYAITA(陸上競技場)フェンス改修、芝張替え工事 計6,115千円</li> <li>・文化スポーツ複合施設基本設計・実施設計委託 31,900千円</li> <li>・文化スポーツ複合施設外構設計、土質調査委託 計5,115千円</li> <li>・未来技術企画・設計委託 4,818千円 矢板市未来技術導入推進委員会4回開催</li> </ul>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進むが誘客のため重要な施設(武道館、テニスコート)の改修を要する。</li> <li>・旧学校施設(上伊佐野、長井、日新)、廃校に伴う施設の方向性(廃止、譲渡)を意思決定する必要がある。</li> <li>・市体育館の解体撤去を文化スポーツ複合施設建設から5年以内に実施しなければならない。</li> </ul> <p>以上の課題解決には多額の費用を要するため、中期的な財政計画に基づいて適切に財源(国県補助、起債、スポーツ振興くじ助成)の確保に努め、事業を実施していく。</p>				

### ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	スポーツ推進によりもたらされる効果は多種多様であり、その推進の根幹をなす施設整備の妥当性は高い。
手法の効率性	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	施設整備後も管理運営、維持補修、更新と経費を要し効率性が高いとは言いがたいため、稼働率の向上、多様な事業展開を要する。
費用対効果	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	多額の整備費用を要するスポーツ施設は「費用対効果」の観点では評価が低くなるが、民間に委ねにくいことから行政の責務としてやむを得ない。
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	運動公園の国体改修、文化スポーツ複合施設等順調に整備、改修を行っている。
評価結果	28	A(31点以上)   B(30~22点) C(21~13点)   D(12点以下)	ランク                      B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止		

### ●委員評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
評価結果	28	A(31点以上)   B(30~22点)   C(21~13点)   D(12点以下)	ランク                      B
委員の意見	とちぎ国体という大きな行事を控え、加えて文化スポーツ複合施設の建設に関わる主担当部署として業務量が多くなっていると思うが、ぜひ目標を達成してほしい。		

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	3-1-③	施策名	スポーツツーリズム推進事業との連携	主管課	国体・スポーツ局
事業費 (千円) (決算額)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比	
	—	—	—	—	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	国の第3期スポーツ基本計画に即してスポーツによる地方創生、まちづくりを推進するため、関係部局と連携し、スポーツを観光資源と位置づけスポーツ交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化を図る。				
施策の対象者	市外からの来訪者				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツツーリズム推進事業と連携し、新型コロナウイルス感染症の影響により急減したスポーツ交流人口を回復させる。</li> <li>・いちご一会とちぎ国体の開催を契機とした全国からの誘客を図る。</li> <li>・プラスアルファのコンテンツを提供し、宿泊を伴う来訪者の比率を高める取り組みを支援する。</li> <li>・全国から参加者が来市するような大会を開催する。</li> </ul>				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ交流人口の推移 R2 101,641人 R3 115,319人</li> <li>・いちご一会とちぎ国体リハーサル大会(サッカー競技、軟式野球競技)の中止</li> <li>・市内宿泊者数 R2 71,319人 R3 76,958人</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響による矢板たかはらマラソン大会中止</li> </ul>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会の参加者の多くが県内、首都圏からであり日帰りでの来訪が可能のため、滞在時間が短く宿泊に繋がっていないことから、市内経済の活性化が図れているとは言い難い。</li> <li>・単なるスポーツ施設の提供、スポーツ大会の誘致にとどまらず、プラスアルファのコンテンツを提供し、滞在時間を延ばして宿泊率を高めていく。</li> </ul>				

### ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	国が目指す「スポーツを通じた活力のある社会の実現」と合致しており、スポーツ部局が取り組む妥当性は高い。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	とちぎフットボールセンター、既存のスポーツ施設等を活用し、地域活性化につながることから効率性は高い。	
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	民間活力(矢板スポーツコミッション)により推進していくことから費用対効果は高い。	
目標達成度	4	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input checked="" type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	新型コロナウイルス感染症の影響によりこの2年間想定した成果には至っていない。	
評価結果	28	A(31点以上)    B(30~22点) C(21~13点)    D(12点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基 準	準	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	B
委員の意見	スポーツを通して、地域経済の活性化という目標を達成するためには、担当課のみならず、関係部署が連携し一体となって取り組む必要がある。今後の展開に期待する。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

## 矢板市教育行政事務点検評価委員会設置要綱

### (設置及び目的)

第1条 矢板市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項に規定する教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価（以下「事務の点検評価」という。）を行うにあたり、同条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、矢板市教育行政事務点検評価委員会（以下「点検評価委員会」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 点検評価委員会は、次に掲げる事項について、事務の点検評価を行い、その結果を教育委員会に報告する。

- (1) 教育委員会の基本方針に基づき行う主要施策に関すること。
- (2) その他教育委員会が必要と認める事項に関すること。

### (組織)

第3条 点検評価委員会は、委員3人以内で組織する。

2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

### (任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

### (委員長)

第5条 点検評価委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、会務を総括し点検評価委員会を代表する。

4 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指定した委員がその職務を代理する。

### (会議)

第6条 点検評価委員会は、委員長が招集し議長となる。

2 点検評価委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことはできない。

3 検討委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴きまたは、必要な資料等の提出を求めることができる。

(事務局)

第7条 点検評価委員会の庶務は、教育委員会事務局教育総務課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、点検評価委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。





令和4年度 矢板市教育委員会の点検・評価報告書

発行／令和4年8月

矢板市教育委員会事務局 教育部教育総務課  
電話 0287-43-6217 FAX 0287-43-4432  
E-mail:kyouiku@city.yaita.tochigi.jp